

教員養成政策において私立大学の教員養成教育をより積極的に位置づける

平成24年度実施の小学校教員の採用試験結果を見ると、国立の教員養成系大学・学部以外出身の一般大学・学部出身者採用者がついに半数を超えて52.4%になりました（文部科学省調べ）。逆に、国立の教員養成系大学・学部出身の採用者は37.9%に低下しました。現在、教員養成系学部を持つ私立大学は200近くに上っています。また、中学・高等学校教員の一般大学・学部出身採用者はそれぞれ60%を超えています。学生数からすると、このうち私立大学出身の教員採用者はかなりの数に上ると思われます。

この事態を考えますと、国立の教員養成系大学・学部以外、特に私立大学の教員養成の重要性が浮かび上がってきます。そこで今回のセミナーのテーマを、「教員養成政策において私立大学の教員養成教育をより積極的に位置づける」と致しました。こうした状況に対して、文部科学省はどのような教員養成政策を立てようとしているのか、国立の教員養成系大学・学部はどのような対策を講じようとしているのか。また私立大学の教員養成の実践例を報告していただき、今後の教員養成の方向性を探る機会と致します。

協同出版株式会社
代表取締役社長 小貫輝雄

■日時 平成26年1月21日(火) 13:15~19:00 (受付は12:45から開始します)
■会場 経団連会館 経団連ホール 東京都千代田区大手町1-3-2 Tel 03-6741-0222
「資料代 1,000円(税込)を申し受けます」

内容

第1部

- 〈基調講演〉 13:15~14:15
テーマ：「大学における教員養成教育の在り方と教員養成系大学・学部に係るミッションの再定義」
・文部科学省 高等教育局長 布村 幸彦 氏
- 〈施策説明〉 14:15~14:55
テーマ：「教職課程と教員採用に係る全体状況、教職課程に係る適格認定システムの導入」
・文部科学省 初等中等教育局 財務課長 池田 貴城 氏

第2部

- 〈実践報告・提案〉 15:40~17:20
テーマ：「教職課程の教育活動の実践報告と大学における教員養成教育に関する提案」
・梅澤 収 氏 (静岡大学教育学部長・大学院教育学研究科長)
・高田 邦昭 氏 (群馬大学長)
・中村 正 氏 (立命館大学総長特別補佐・教授)
・町田 健一 氏 (国際基督教大学大学院教授・教職課程主任)
・矢口 徹也 氏 (早稲田大学大学院教育学研究科長) (順不同)
- 〈提 言〉 17:20~17:40
テーマ：「小中学校教員採用における国立教員養成系学部出身者と私立等一般教職課程出身者の位置づけ」
・漆間 浩一 氏 (横浜市教育委員会 教育次長)
- 〈パネルディスカッション〉 17:40~19:00
・池田 貴城 氏 (文部科学省 初等中等教育局 財務課長)
・梅澤 収 氏 (静岡大学教育学部長・大学院教育学研究科長)
・高田 邦昭 氏 (群馬大学長)
・中村 正 氏 (立命館大学総長特別補佐・教授)
・町田 健一 氏 (国際基督教大学大学院教授・教職課程主任)
・矢口 徹也 氏 (早稲田大学大学院教育学研究科長)
・漆間 浩一 氏 (横浜市教育委員会 教育次長)
・大沢 陽一郎 氏 (読売新聞東京本社 論説委員)
・[司会] 徳永 保 氏 (筑波大学教授) (順不同)
- 〈情報交換会〉 14:55~15:40 (軽食を用意させていただいております。)